

配管内蔵（高圧力型）

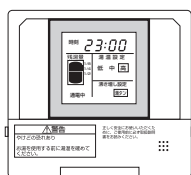
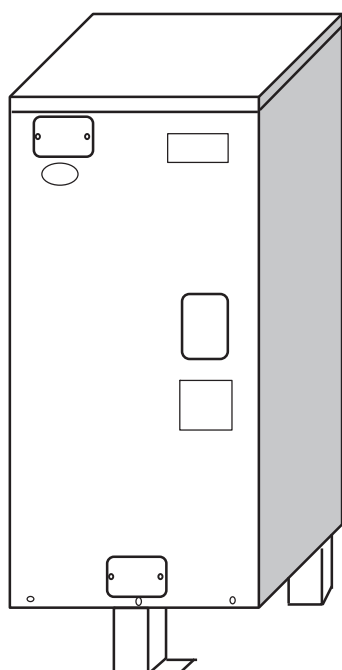
リモコン付

Chuki 電気温水器 取扱説明書

時間帯別電灯対応型／深夜電力通電制御型

CS-402MECU2

CS-502MECU2



このたびは中機電気温水器をお買上げくださ
いまして、ありがとうございました。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みく
ださい。お読みになった後は保証書とともに、
分かりやすい場所に保管してください。

この電気温水器（以下温水器と呼ぶ）は、
電気のご契約内容によって「時間帯別電灯」
または「深夜電力通電制御型」のどちらでも
対応可能です。適用を受ける場合は電力会社
への申請が必要ですので、据付工事店または
お近くの電力会社にご相談ください。

も く じ

安全上のご注意

- ・ 警告 1
- ・ 注意 2

各部のなまえとはたらき

- ・ 温水器本体 3
- ・ リモコン 4

ご使用方法

- ・ ご使用前の準備 5
- ・ お湯の使用について 5
- ・ お湯の上手な使い方 5
- ・ リモコンの使い方 6
- ・ 時刻の設定 6
- ・ 湯温の設定 7
- ・ 湯温の表示 7
- ・ 沸き増しの設定 8
- ・ 残湯量の表示 8

凍結防止について

日常の点検とお手入れ

- ・ 漏電遮断器の点検 10
- ・ 逃し弁（給湯側）の点検 10

- ・ タンクのお手入れ 10
- ・ 減圧弁ストレーナの清掃 10
- ・ 本体・配管の点検 10

長期間使用しないときには

- ・ タンクの水抜きをする 11

注意していただきたいこと

- ・ “故障かな？”と思ったときは 14

定期点検のおすすめ

- ・ 長くご使用いただくために 15
- ・ 部品の交換について 15

保証について

- ・ 故障した場合は？ 15
- ・ 修理用部品の最低保有期間は？ 15
- ・ 保証期間経過後は？ 15
- ・ 保証期間は？ 15
- ・ アフターサービスの連絡先は？ 15

電気料金制度について

仕様

- ・ 仕様 17

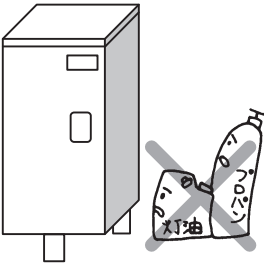
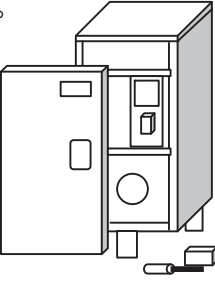
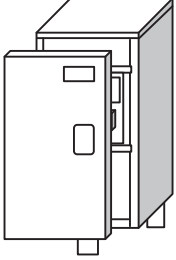
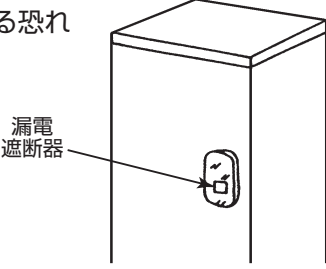
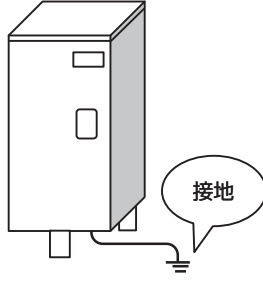
安全上のご注意

- *ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。
- *ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- *本文中や、温水器本体の注意事項に使われる表示の意味は次のとおりです。

 警告	誤った取扱いをしたとき、死亡または重傷を負う可能性があるもの。	 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。
---	---------------------------------	---	---------------------------------

*本文中や温水器本体の図記号表示例はつぎのとおりです。

	禁止行為を告げるもの		感電の恐れあり
	行為を強制・指示するもの		やけどの恐れあり
	必ずアース工事をしてください		発火の恐れあり

 警告	
 やけどに注意 ・給湯時は給湯栓のつまみ以外に手を触れない 朝使い始めに、給湯レバーを開けると空気の混ざった熱湯が出る場合があります。 	 温水器の近くにガス類や引火物を置かない ガス漏れ等があった場合、温水器の電気部品から発生するスパーク等で、発火することがあります。 
 修理技術者以外の人、分解・修理・改造は行わない 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。 	 前面カバーは開けないでください 感電の恐れがあります。 
 漏電遮断器の動作を確認する 故障したまま使用すると、漏電のとき感電する恐れがあります。 	 接地（アース）工事を確認する 接地工事をしてないと、故障や漏電のときに感電する恐れがあります。  接地の取り付けは据付工事店または販売会社にご相談ください。

注 意



そのまま飲用しない

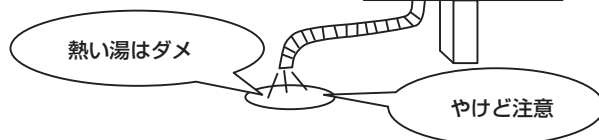
長時間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化等によって、水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。

- ・必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- ・熱いお湯が出てくるまでの水（配管にたまっている水）は雑用水としてお使いください。
- ・固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せず直ちに、据付工事店（販売店）へ点検を依頼してください。



タンク内の熱湯排水は直接しない

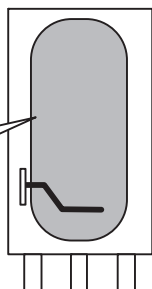
やけどや、排水管が変形・破損することがあります。



通電はタンクを満水にしてから

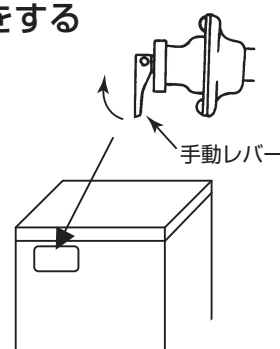
ヒーターが異常過熱し、故障することがあります。

タンク内は満水に！



逃し弁の点検をする

逃し弁が故障して漏れた場合、やけどや大きな被害につながる可能性があります。（詳細は10ページ参照）



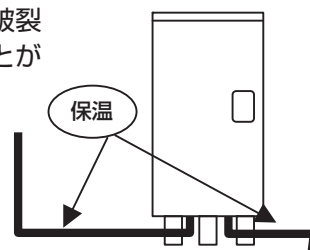
1カ月以上使用しないときは電源（配線用遮断器）を「切」にしてタンクの排水をする

長い間放置すると水質が変化することがあります。排水操作方法は11ページを参照ください。



凍結防止対策の確認をする

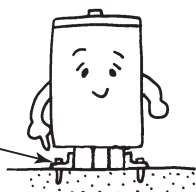
凍結により、配管が破裂してやけどをすることがあります。（9ページ参照）



脚がアンカーボルトで固定してあるか確認する

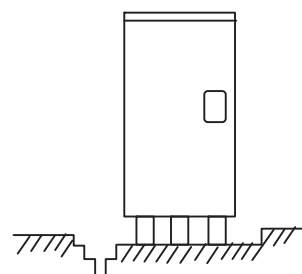
本体が倒れてけがをすることがあります。

アンカーボルト



防水処理・排水処理がされているか据付工事店へ確認する

水漏れが起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。



その他の注意

蛇口からお湯を出すと、白く濁ったお湯が出る

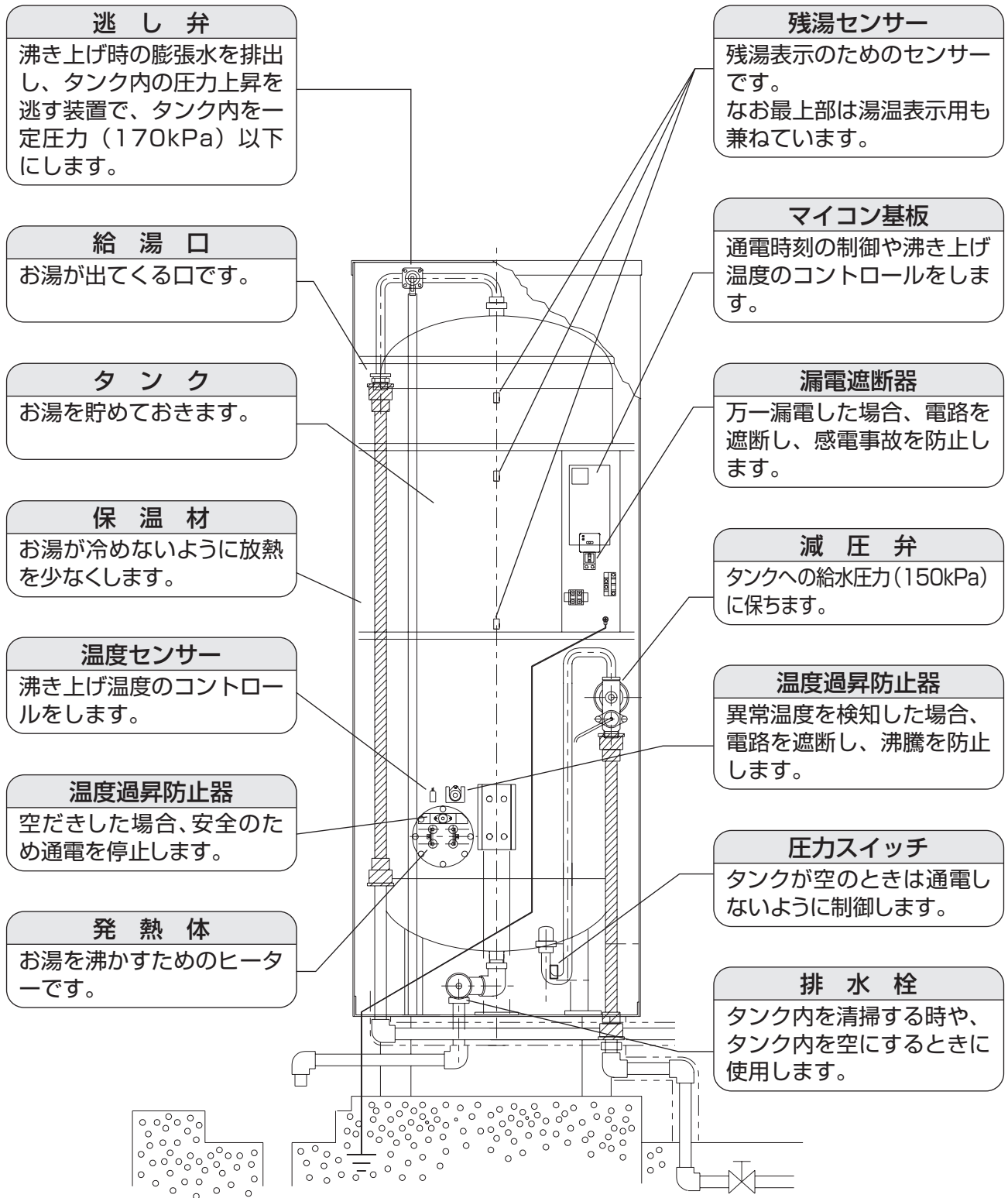
水中に溶け込んでいる空気が熱せられ、蛇口を開けたときに大気圧まで減圧され、細かい気泡となって出る現象です。少し時間をおくと消えてしまい、全く無害です。

蛇口からお湯を出すと、油分や臭いが出る

使い始めに、配管工事のときの油や配管接着剤等の臭いが、お湯に混ざって出てくる場合がありますが、しばらく使うと消えます。

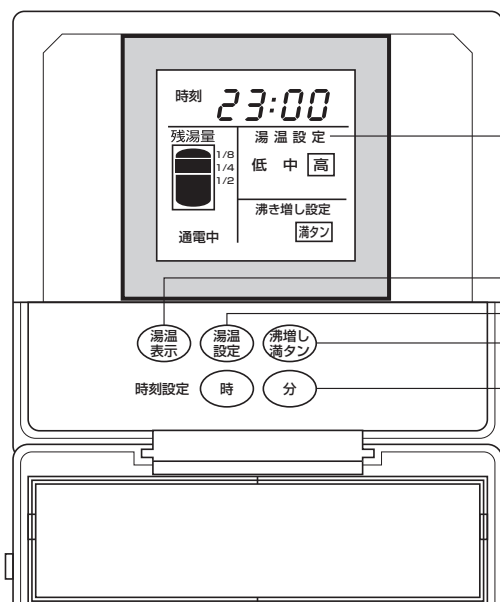
温水器本体

構造図



各部のなまえとはたらき

リモコン本体



表示窓

時刻、湯温、温度設定、残湯等の表示をします。

湯温表示スイッチ

温水器タンク内の湯温を表示します。

湯温設定スイッチ

沸き上げ湯温の設定を変更する時に使用します。

沸き増し満タン設定スイッチ

沸き増しするときに使用します。
(時間帯別電灯の場合のみ使用できます)

時刻設定スイッチ

現在時刻を設定する時に使用します。

リモコン表示部



時刻表示部

現在時刻の表示をします。

湯温表示部

湯温表示スイッチを押すことにより、タンク内の湯温10秒間表示します。

湯温設定表示

沸き上げ湯温設定を押すと、☐ 表示が移動し、沸き上げ温度が変わります。
(7ページ参照)

沸き増し設定表示

時間帯別電灯契約時のみ表示され、昼間時間帯での沸き増し設定が可能です。

通電中表示

お湯の沸き上げ中に「通電中」の表示をします。

残湯量表示

残湯量の表示をします。
残湯 1/2 1/4 1/8 残湯注意

ご使用方法

ご使用前の準備

△ 注 意



通電はタンクを満水にしてから行ってください。

使い始めやタンクの清掃後など、タンクが空の状態のときは、次の手順で操作してください。

タンクに給水します

1. 湯水混合栓、またはシャワーの給湯つまみを開きます。(左に回す)



2. 温水器専用止水栓を開きます。(左に回す)



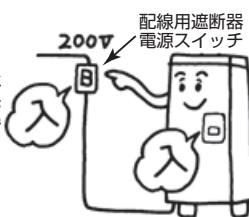
3. 湯水混合栓、またはシャワーなどから水が出てきたら満水になりましたので給湯栓を閉じます。(右に回す)



条件によって変わりますが、満水までに約40分ほどかかります。

電源を入れます

1. 温水器専用200V配線用遮断器および漏電遮断器の電源スイッチを「入」にします。



2. リモコンの時刻表示を現在時刻に設定します。(6ページ参照)

リモコンの時刻を正しく設定しないと、動作しません。

3. リモコンの湯温設定スイッチで沸き上がり湯温の設定をします。

お湯の使用について

△ 警 告



給湯時は給湯栓のつまみ以外に手を触れないでください。

やけどすることがあります。

給湯時は熱湯が出る恐れがあります。

やけどに注意してください。

タンクに給水し電源を入れれば、每晚自動的にお湯が沸き、朝になれば給湯栓を開くだけで、お湯の使用が可能となります。

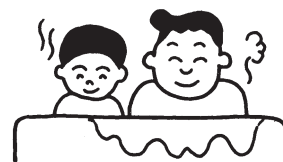
お湯の上手な使い方

特に冬期はお湯の使用量が多くなるため、ムダな使い方をしますと、お湯が足らなくなることがあります。

- 流し洗いはお湯のムダ使いになります。お湯は容器に受けて使うと経済的です。



- 入浴はできるだけ連続して入ると、お湯がさめにくく、足し湯の量が少なくすみます。



- 配管内のお湯は早くさめます。お湯を使う回数を、できるだけ少なくすると効果的です。

- 入浴は夜11時までに入るようにしましょう。夜11時を過ぎてお湯を多量に使うと、沸き上げ時間が不足するため、翌日の沸き上がり湯温が低くなることがあります。

注意

高圧力型は、空だき防止機能として、タンクに水が供給されていない場合は、リモコンに「Err6」が表示され、通電を行いません。

「Err6」が表示されたときは、次の確認をお願いします。

- ・ 温水器専用止水栓が閉じていませんか。
- ・ 給水配管が凍結していませんか。
- ・ 断水していませんか。

リモコンの使い方

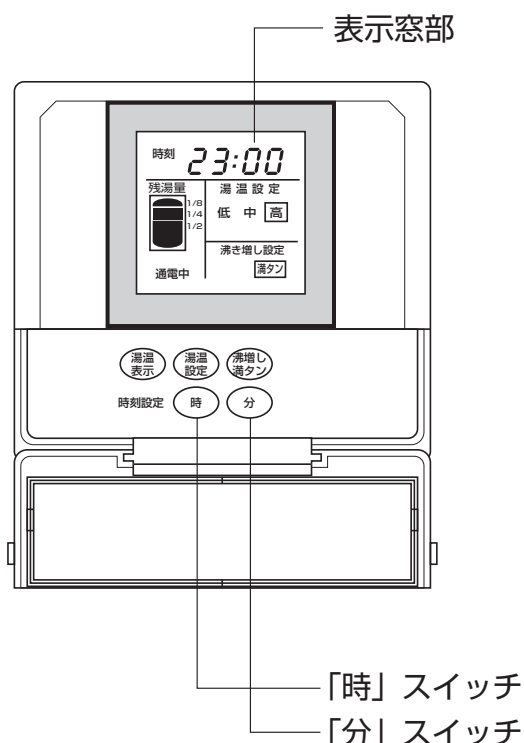
注 意（時間帯別の場合）

- ・「時間帯別電灯」料金制度で使用する場合、現在時刻を正しく設定をしないと、沸き上げができません。
- ・時刻の設定は正しく行わないと、電気料金が高くなる場合があります。
（昼夜時間帯を逆にした場合または、現在時刻がずれている場合）
- ・「時間帯別電灯」料金制度で使用する場合、最初の24時間以内は昼間でも「通電中」表示がでることがあります。

時刻の設定

操作する前に

- ・時刻は必ず現在時刻に設定してください。
- ・時刻が正しく設定されていない場合、または、まちがえて設定した場合は、必ず設定しなおしてください。

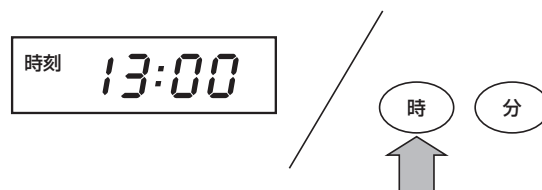


停電などでまれにリモコンの表示が“00:00”で点滅することがあります。この場合は時刻設定を行ってください。

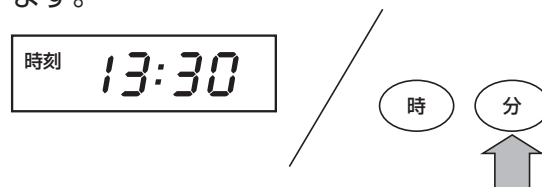
なお、“00:00”の点滅が年に数回起こる場合は、リモコンケーブルの接続不良や故障が考えられますので、据付工事店または販売会社に連絡してください。

最初の時刻設定の方法

1. リモコンの表示窓を見ながら、時計セット部の「時」スイッチを押し、現在時刻の“時”を設定します。



2. 次に「分」スイッチを押し、“分”を設定します。



スイッチは押し続けると“1”→“2”→“3”と切り換わります。

ご注意

- ・時計機能は24時間表示です。
- ・この温水器は中国電力管内用として夜間時間帯が夜23時～翌朝8時までの設定になっています。中国電力管内以外の地域では夜間時間帯の変更が必要です。
据付工事店または販売会社にご相談ください。

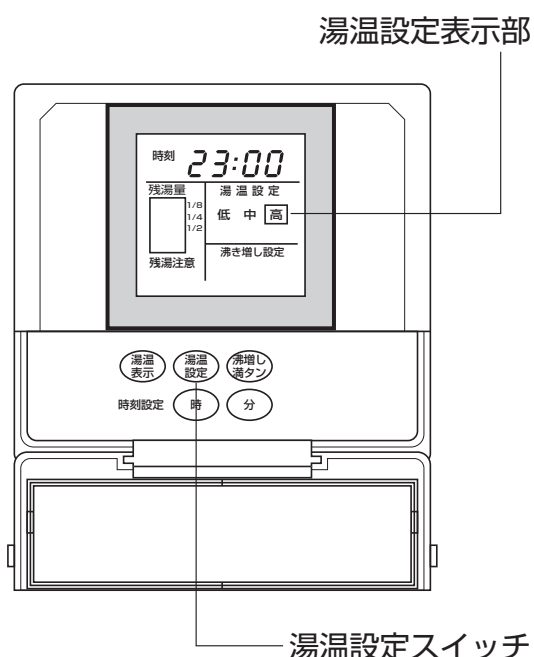
現在時刻が違ってしている場合

長く使用しているうちに、表示時刻が違ってくることがあります。
そのときは、上記の手順で修正してください。

湯温の設定

操作する前に

- ・湯温設定スイッチにより「高」「中」「低」3段階の沸き上げができます。
- ・使いはじめは、温度の設定を「高」に設定し、毎日の使用量により、残湯量が多い場合は、順次低い湯温設定に切換えてください。
- ・温度を下げて使用中、湯量が不足する場合は、高い設定に切換えてください。
- ・季節により温度の設定を換えてください。



湯温を設定するとき

「湯温設定」スイッチを押します。

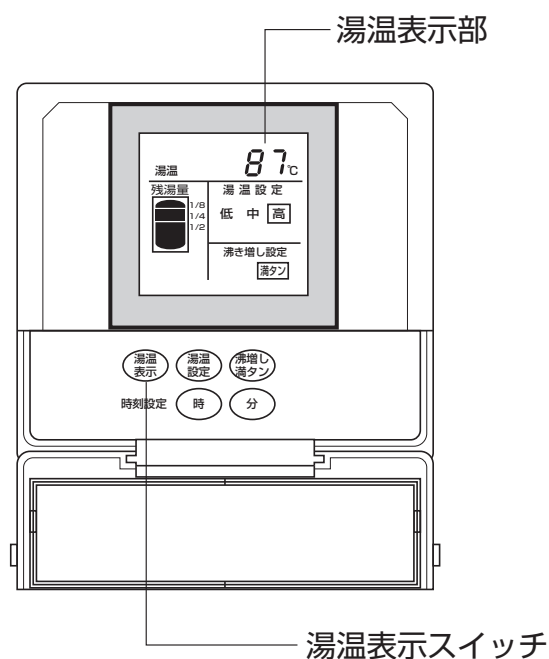


スイッチを押すごとに、湯温設定表示枠 ☐ が 低 中 ☒ 高 → 低 ☒ 中 高 → ☒ 中 高 と切換わります。

沸き上げ湯温の目安

- ・「高」……約87℃
- ・「中」……約75℃
- ・「低」……約60℃

湯温の表示



湯温を表示するとき

「湯温表示」スイッチを押します。



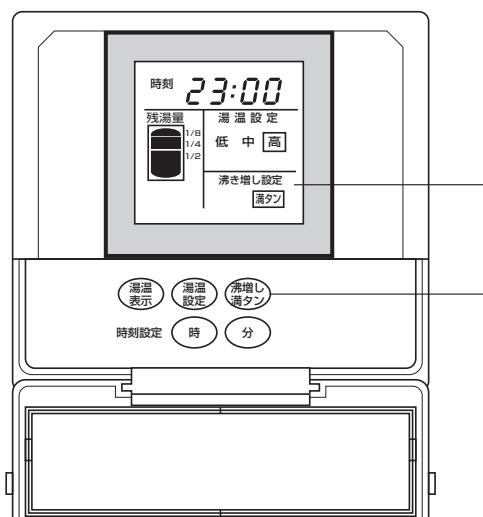
注意

- ・湯温の表示は、約10秒後に時刻表示に戻ります。
- ・給湯栓から出るお湯は、配管条件によって、表示湯温より低くなることがあります。
- ・表示の湯温は、タンク内のお湯の放熱により、少しずつ下がります。

沸き増しの設定

- ・「時間帯別電灯」料金制度で契約された場合に、ご使用できます。
- ・来客または大掃除等によりお湯がたくさん必要で、夜間時間帯で沸かしたお湯だけでは足りないときに使用します。

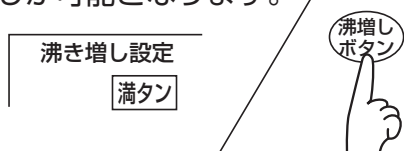
沸き増し表示部



満タン沸き増しスイッチ

設定方法

1. 「沸増し満タン」スイッチを押すと満タン→満タンと枠表示が出て、沸き増しが可能となります。



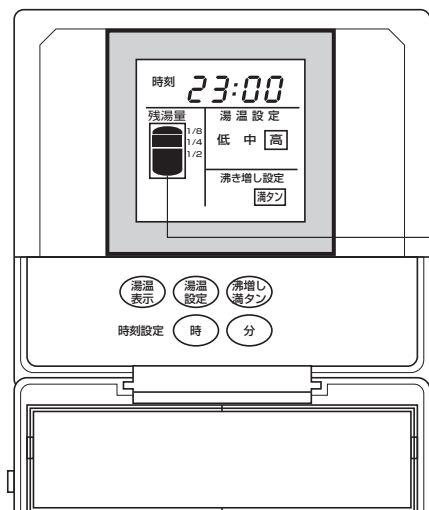
- ・もう一度スイッチを押すと [] が消え設定が解除されます。

注意

- ・最初の電源「入」から24時間以上経過しないと沸き増し設定はできません。(リモコンに表示は出ません。)
- ・満タン沸き増しは、お湯を一定量以上(300Lタイプで約50L、400・500Lタイプで約70L)使用しないと、沸き上げは行われません。
- ・沸き増しは、設定した日から何回でも行われますが、23時の深夜電力時間帯になると解除されます。
- ・お湯の残りが少なくなって(または無くなって)から沸き増し設定をしても間に合いません。
- ・沸き増しが不要な場合には、ムダな沸き上げを防ぐため、早めに解除してください。

残湯量の表示

タンク内に残っているお湯の量を表示します。湯量が少なくなると「残湯注意」が表示されます。



残湯量表示部

残湯量表示	残湯量のめやす	
	1/8	残湯量 1/2以上
	1/4	200Lタイプ 残湯量100L以上
	1/2	300Lタイプ 残湯量150L以上
		400Lタイプ 残湯量200L以上
		500Lタイプ 残湯量250L以上
	1/8	残湯量 1/4以上
	1/4	200Lタイプ 残湯量50~100L
		300Lタイプ 残湯量75~150L
		400Lタイプ 残湯量100~200L
		500Lタイプ 残湯量125~250L
	1/8	残湯量 1/8以上
		200Lタイプ 残湯量25~50L
		300Lタイプ 残湯量37~75L
		400Lタイプ 残湯量50~100L
		500Lタイプ 残湯量62~125L
		残湯量 1/8以下
		200Lタイプ 残湯量25L未満
		300Lタイプ 残湯量37L未満
		400Lタイプ 残湯量50L未満
		500Lタイプ 残湯量62L未満
残湯注意		

注意

残湯表示が全て表示していても満タンとは限りません。1/2以上残湯があれば全ての量が表示されます。

凍結防止について

通常の保温工事がしてあっても、冬期に周囲温度が0℃以下になる場所では、配管が凍結する恐れがありますので、下記の凍結防止対策が必要です。

蛇口から湯水を流す方法

蛇口から湯水を流し凍結するのを防ぐ方法です。

- 凍結するには-4℃以下で6時間程度かかります。これを防ぐため、毎分100～200cc（糸を引く程度）を目安に、連続して湯水を出し続けることにより、凍結を防ぎます。

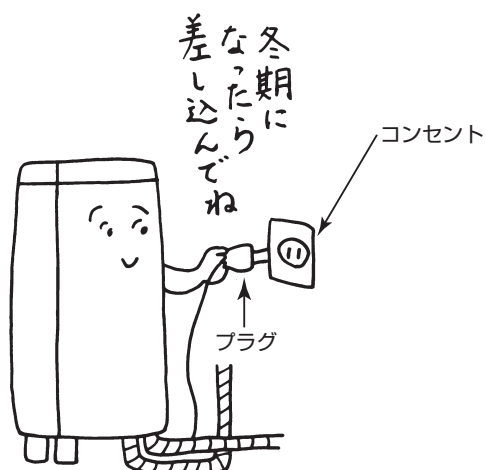
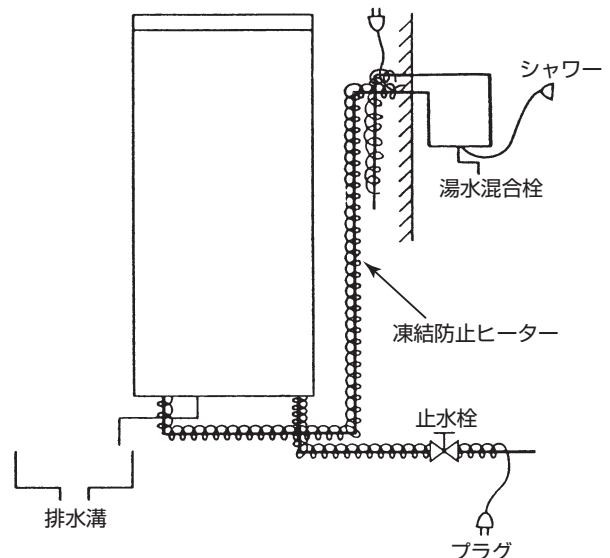


凍結防止ヒーターによる方法

配管をヒーターで温めることで、凍結を防止する方法です。

- 1.凍結のおそれのある給水および給湯配管のすべてに、凍結防止ヒーターが巻かれていることを確認します。
- 2.凍結防止ヒーターは何本も使用されていますので、すべてのヒーターのプラグをコンセントに差し込みます。

配管内蔵型の場合



- 凍結しない季節は、安全のためコンセントからプラグを抜いておきます。

日常の点検とお手入れ（1年に2～3回程度）

漏電遮断器の点検

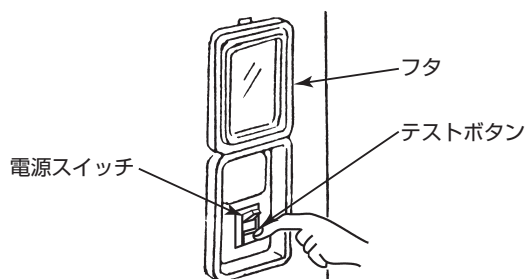
漏電遮断器の点検は、通電時間中（深夜電力契約の場合は夜11時～翌朝8時です。）に行ってください。

- 1.点検操作窓のフタを開けてください。
- 2.漏電遮断器のテストボタンを押します。
「入」になっていた電源スイッチが「切」になれば正常です。

このときスイッチレバーが勢いよく動作しますので、指に当たらないよう注意してください。

- 3.電源スイッチを「入」にもどし、点検操作窓のフタを閉じます。

※電源スイッチが動作しない場合は、据付工事店または販売会社にご連絡ください。



タンクのお手入れ

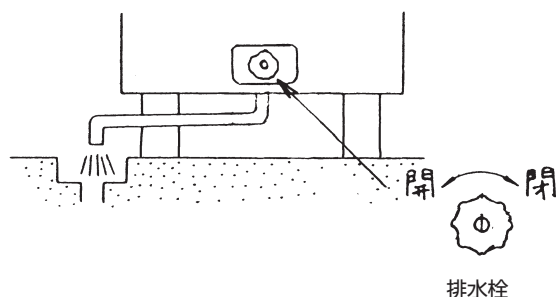
警告



排水時は熱湯が出る恐れがあります。
やけどに注意してください。

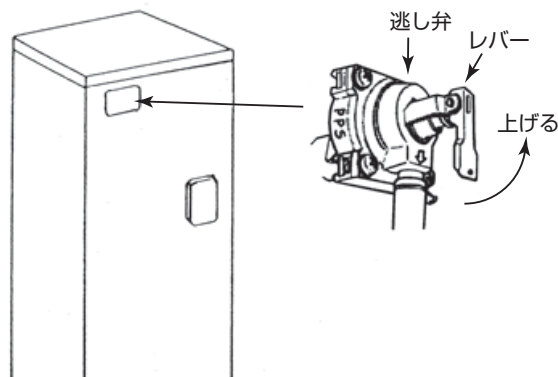
長く使用していると、タンクの底に沈殿物が溜ることがあります。

- 1.温水器専用止水栓は開いたままで、温水器底の排水栓を開き、約2分間排水します。
- 2.排水がきれいになったら、排水栓を確実に閉めます。
(排水がきれいにならなかったら、数回繰り返してください。)



逃し弁（給湯側）の点検

- 1.ヒーターが通電していない時に、逃し弁からお湯が出ないことを確認します。
- 2.温水器上部の逃し弁点検窓のねじを外し、ふたをあけます。
- 3.逃し弁の手動レバーを数回上下に動かし、排水することを確認してください。
- 4.点検後は点検窓のふたを取り付けてください。



減圧弁ストレーナの清掃 (お湯の出が悪くなっているとき)

減圧弁のストレーナ部に水あかやゴミなどが付着して、お湯の出が悪くなることがあります。減圧弁は温水器本体内にあるため、ストレーナの清掃は据付工事店または販売会社にご依頼ください。

本体・配管の点検

配管の保温材破損や水漏れがないか、特に冬期に入る前にチェックし、異常のある場合は、据付工事店または販売会社にご連絡ください。

長期間使用しないときには

タンクの水抜きをする

⚠ 警 告



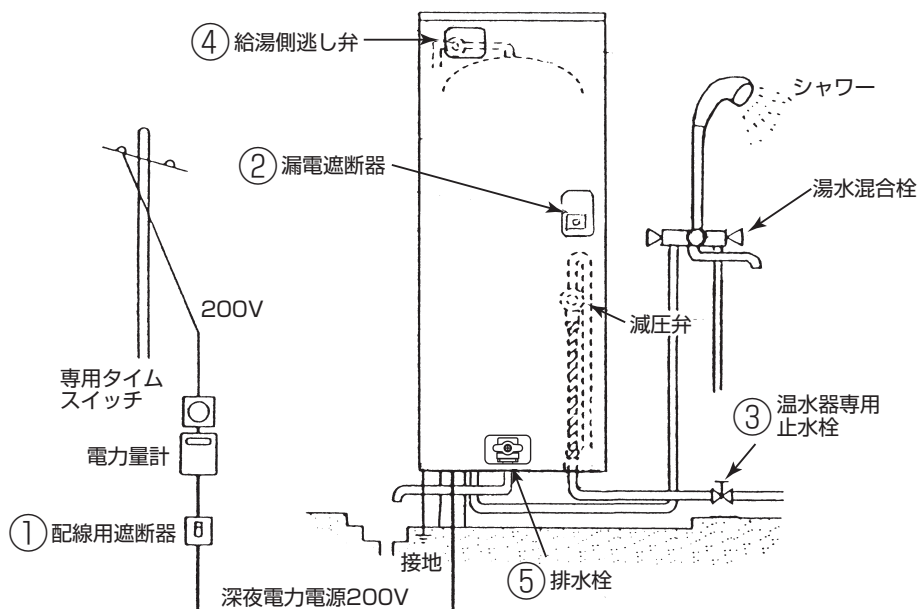
給湯・排水時は熱湯が出る恐れがあります。
やけどに注意してください。

⚠ 注 意



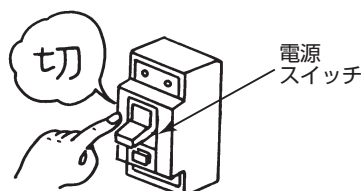
タンク内の熱湯排水は直接しないでください。
やけどや、排水管が変形・破損することがあります。

下記操作手順により、タンクの水抜きをしてください。

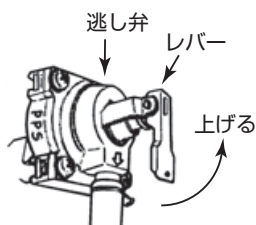


水抜きは、排水管の保護と、お湯をすてるムダを少なくするため、お風呂に入れるなど、多量にお湯を使用した後に行ってください。

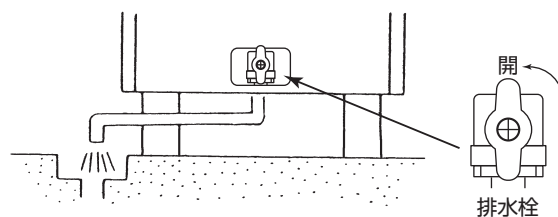
1. 深夜電力電源200V配線用遮断器①または漏電遮断器②の電源スイッチを「切」にします。



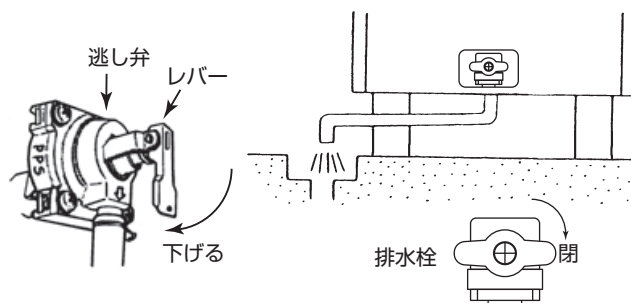
2. 温水器専用止水栓③を閉じてから、給湯側逃し弁④のレバーを上げます。



3. 排水栓⑤を開きます。(熱いお湯が出る場合がありますので、やけどをしないように注意してください。)



4. 排水が終わりましたら、給湯側逃し弁④のレバーを下げ、排水栓⑤を閉じます。

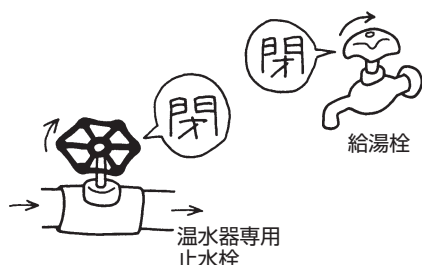


★再びご使用になるときは、使用前の準備（5ページ）に従ってください。

注意していただきたいこと

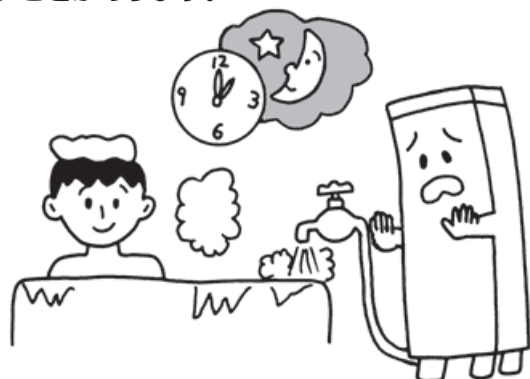
断水の際は、温水器専用止水栓および給湯栓を閉じておいてください

減圧弁内の逆止弁にゴミかみ等で不具合があった場合、水道管に逆流することがあります。



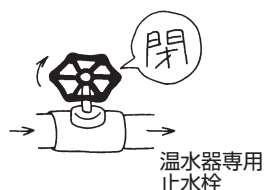
深夜でのお湯の使用は、湯量不足の原因となります

夜11時過ぎて、ヒーターへ通電中に多量のお湯を使うと、翌日設定した湯温まで沸き上がらないことがあります。



水漏れを発見したときは、温水器専用止水栓を閉じてください

温水器本体や、周辺配管などから水漏れが生じたときは、温水器専用止水栓をまず閉じてください。つぎに据付工事店または販売会社にご連絡ください。



中・高層住宅では、漏水が下層階へ流出し、被害を及ぼす場合がありますので、ときどき点検してください。

リモコンにエラー表示が出ているときは、修理を依頼してください

時刻（湯温）表示部に「Err」表示が出ている場合は異常です。据付工事店または販売会社にご連絡ください。

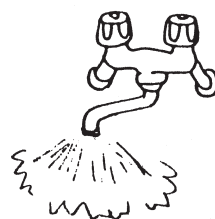
表示	故障の原因	現象
Err1	温度センサーの断線または短絡	湯が沸かない
Err2	リレーの不良（溶着）	過昇防止器動作
Err3	リレー・発熱体不良他	湯が沸かない
Err4	残湯センサーの断線または短絡	残湯なし表示
Err7	リモコンの通信不良	湯が沸かない

注意

「Err6」が表示されている場合は、タンクに水が入っていないか、元バルブが閉まっている可能性があります。（断水や凍結も考えられます。）修理を依頼される前に確認してください。

朝使い始めに給湯栓を開いたとき、空気の混ざった熱湯が出ることがあります

深夜にお湯が沸き上がる途中、水に混ざった空気が分離して、タンクの上部に溜まります。自動空気抜き弁が取り付けられていれば、自動的に空気を除去できますが、無い場合は、朝、給湯栓を開いたとき、熱湯といっしょに空気が混ざって、出湯口から飛び散ることがあります。



お湯を出すと、白く濁った水が出ることがありますが、異常ではありません

水中に溶け込んでいる空気が熱せられ、蛇口を開いた時に大気圧まで減圧され、細かい気泡となって出る現象です。特に寒い季節に水と混ぜると多く出ることがありますが、白く見えるのは小さな気泡のせいで、少し時間をおくと消えてしまいます。

修理を依頼される前に

こんなときは故障ではありません。

夜間時間帯（23時以降）なのに、ヒーターに通電されない

給水水温が高い場合や、沸き上げ湯温の設定が低い場合は、マイコンの働きにより、通電時刻を遅れさせるため、すぐにヒーターへ通電されないことがあります。

ヒーターへの通電が深夜電力の終了時刻よりも早く切れる

前日お湯の使用量が少なく、残湯が多いと早く沸き上がることがあります。

ヒーターへ通電中に、逃し弁からお湯または水が出ている

水がお湯になるときは体積が膨張するため、逃し弁が正常に作動していれば、ヒーターへ通電中に逃し弁からお湯または水が出ます。（膨張水はタンク容量の約3%出ます）

最高設定湯温まで沸き上がらない

水温が低い場合、沸き上げ時間の不足により、最高湯温まで沸き上がらないことがあります。

設定した湯温まで沸き上がらない

深夜電力通電時間中に、湯温設定を「高く」したり、ヒーターへ通電中にお湯を使用すると、設定した湯温まで沸き上がらないことがあります。また、沸き上がり湯温は、2～3℃前後ばらつくことがあります。

お湯が残っているはずなのに、夜遅くお湯を出すと湯温が低い

深夜電力通電時間帯（夜11時～翌朝8時）になり、ヒーターへの通電が開始されると、対流により湯と水が混ざり、湯温が下がることがあります。

「沸き増し」スイッチを押しても、昼間の沸き増しができない（時間帯別契約）

設定をしても一定量（50～70L程度）使用しないと通電しません。

注意

- ・通電開始から24時間以上経過しないと設定はできません。
- ・「深夜電力」契約で使用する場合は沸き増し設定はできません。

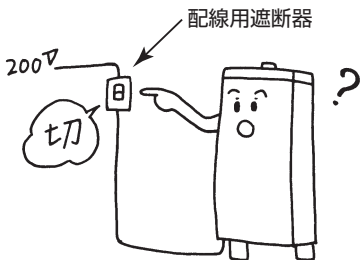
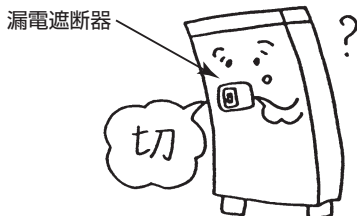
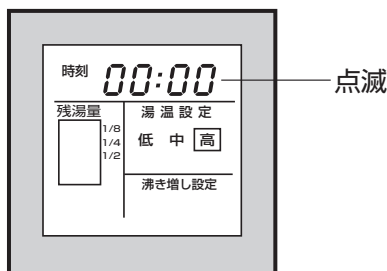
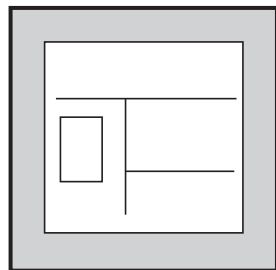
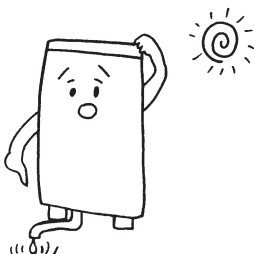
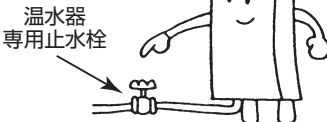
「沸き増し」設定をしていないのに、昼間時間帯に「通電中」表示が出ている

温水器を据え付けて、通電開始から24時間以内は、通電することがあります。

リモコンに「Err6」の表示が出ていてお湯が出ない

断水や給水管の凍結で、温水器に水が供給されない場合、給湯用の蛇口を開けたとき、圧力が低下して「Err6」が表示されることがあります。状態が改善されるとエラー表示は消えます。

“故障かな?” と思ったときは、まず次の点を調べてください。

お湯が沸かない	200V配線用遮断器のスイッチが「切」になっていませんか		温水器本体の漏電遮断器のスイッチが「切」になっていませんか	
	 「切」の場合は「入」にしてください。		 「切」の場合は「入」にしてください。	
	リモコンの時刻表示が00:00になっていませんか（時間帯別契約時）		リモコンの液晶表示が、全て消えていませんか	
	 時刻の設定をしてください。		配線用遮断器および漏電遮断器の電源スイッチが「入」になっているか確認してください。 	
湯温が低い	昼間に逃し弁の排水口よりお湯が出ていませんか		深夜電力通電中にお湯をたくさん使用しませんでしたか	
	 逃し弁のレバーを、数回上げ下げしてください。		 深夜に、多量のお湯は使用しないようにしましょう。	
お湯が出ない	湯温設定が低くなっていませんか		断水していませんか（リモコンに「Err6」表示）	
	 寒い季節への変わり目は、湯温の設定を高くしてください。		 断水が終わるまで待ってください。	
お湯が出ない	温水器専用止水栓は開いていますか（リモコンに「Err6」表示）		配管が凍結していませんか	
	 閉じていれば開いてください。		 とけるまで待ってください。なお、必要に応じて凍結防止対策を行ってください。	

以上のことをお調べになり、それでもなおらないときは、据付工事店または販売会社へご連絡ください。

漏水がひどい場合は、専用止水栓を閉じて、電源を切っておいてください。

定期点検のおすすめ（3～4年に1度）

電気温水器を少しでも長くご満足して ご使用いただくために

日常の点検とお手入れを実施するとともに、据付工事店または販売会社による、定期的な点検をおすすめします。

特に、使用水が井戸水や、塩分、石灰分その他不純物が多く含まれている場合は寿命が短くなることがあります。

点 検 項 目

- ・配管接続部の漏水 ・電気絶縁
- ・ヒーター ・ヒーターパッキン
- ・減圧弁 ・逃し弁
- ・タンク内の清掃

なお、点検費用は有料となります。

部品の交換について

減圧弁、逃し弁等は、弁動作部にゴミや水あかが付着したり、弁座シートが摩耗や劣化しますので、部品の交換を必要とします。

特に、使用水が井戸水や、塩分、石灰分その他不純物が多く含まれている場合は早めの交換が必要です。

交 換 部 品

- ・減圧弁 ・逃し弁
- ・ヒーターパッキン

なお、保証期間が過ぎると、部品代、交換費用は有料となります。

保証について

故障した場合は？

万一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内は無償で修理いたしますので、据付工事店または販売会社にご連絡ください。

保証条件についての詳細は、保証書をご覧ください。

保証期間は？

温水器据付後

- ・温水器本体部品……………2年間
 - ・発熱体……………3年間
 - ・タンク溶接不良等による水漏れ……………5年間
- ただし、ヒーターパッキン等はその他部品と同様2年とします。

詳しくは、保証書をご覧ください。

修理用部品の 最低保有期間は？

この機器の補修用性能部品は製造打切後最低8年間保有しております。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保有期間が経過した後も故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、販売会社にお問い合わせください。

アフターサービスの 連絡先は？

修理・点検・その他ご相談は、据付工事店または最寄りの(株)エネルギー・ライフ&アクセスの営業所にご連絡ください。

電話番号および所在地は添付の“アフターサービス連絡先一覧表”をご覧ください。

保証期間経過後は？

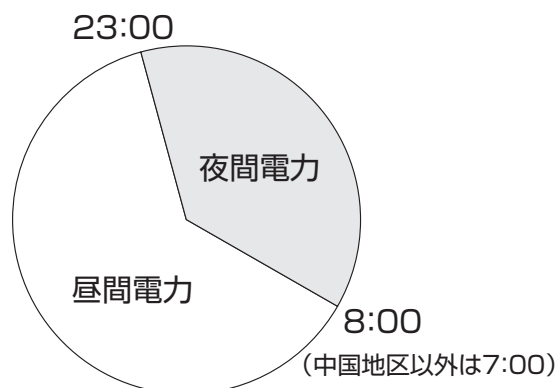
保証期間終了後もお気軽にご相談ください。
なお、修理費用は有料となります。

電気料金制度について

この温水器は、「時間帯別電灯」対応通電制御型または、「深夜電力」通電制御型でも使用できます。ただし、「深夜電力」で使用する場合は、昼間の追加沸き増しはできません。

「時間帯別電灯」料金制度

常時200V電源が供給されます。
家庭で使用する全ての電力を、昼間電力（8時～23時）と夜間電力（23時～8時）に分けて計算します。
一般の電灯料金に比べ昼間電力は若干高くなりますが、夜間電力は大幅に割引されます。

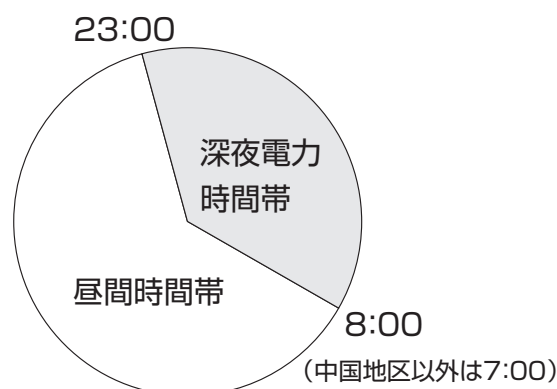


注意

- ・沸き増しは、昼間時間帯（朝8時～夜11時）に沸き上げを行うため、電気料金が割高となります。ご使用にあたっては十分ご理解の上、ご利用ください。
- ・沸き増しは、使用量が十分足りると思われるときは早目に解除してください。

「深夜電力」制度

夜間時間帯（23時～8時）に200V電源が供給されます。
電気料金は、一般電灯料金の約1/3です。
なお、沸き増し機能は使用できません。



仕 様

型 式		CS-402MECU2		CS-502MECU2	
設 置 場 所		屋 外 用			
タ ン ク 容 量		400L		500L	
本 体 寸 法 (mm)		690×726×1955		690×726×2297	
質 量 (kg)	本 体	約81		約92	
	満 水 時	約481		約592	
定 格	発 熱 体	単相200V 4.4kW		単相200V 5.4kW	
	制 御 用	単相200V 約3W			
リ モ コ ン 機 能	沸き上げ湯温設定	「高」(約87℃) 「中」(約75℃) 「低」(約60℃) 3段階			
	沸 き 増 し 設 定	「満タン」 スイッチ			
	時 刻 設 定	「時」 「分」 スイッチ			
	表 示	・ 時刻表示 (24時間表示) ・ 湯温表示 ・ 通電中表示 ・ 湯温設定表示 (高、中、低) ・ 沸き増し表示「満タン」 ・ 残湯量表示 (1/2、1/4、1/8)			
安 全 装 置		漏電遮断器・温度過昇防止器			
温 度 検 知 方 式		サーミスタ式			
発 熱 体		銅管シース式ヒーター			
減 圧 弁	減圧弁機能	設 定 圧 力	150±7kPa {1.5±0.07kgf/cm ² }		
	逆 止 機 能	閉 止 圧 力	3kPa {0.03kgf/cm ² } 以下		
	負圧弁機能	開 作 動 圧 力	－55kPa {－0.55kgf/cm ² } 以下		
		閉 作 動 圧 力	50kPa {0.5kgf/cm ² } 以下		
給 湯 側 逃 し 弁		吹き始め圧力	170±7kPa {1.70±0.07kgf/cm ² } 以内		
		吹き止り圧力	160kPa {1.60kgf/cm ² } 以上		
		吸気の開圧力	－12kPa {－0.12kgf/cm ² } 以下		

愛情点検



★長年ご使用の温水器の点検を！

●この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、
製造打ち切り後8年です。

こんな症状は
ありませんか

- 設置場所が濡れている。
- お湯が早くなる。
- 時々漏電遮断器がはたらく。
- その他の異常や故障がある。



ご使用中止

故障や事故防止のため、200V電源
ブレーカーを切り温水器専用止水栓
を閉じてから、据付工事店に点検・
修理（有料）をご相談ください。



中国電機製造株式会社

本社 〒732-8564 広島市南区大州四丁目4番32号 フュージョンIP 050-5524-1355

温 477-10-02